

おうちの方へ

3月に入り、日差しが暖かい日が多くなってきました。学校では、6年生の卒業に向けての準備が始まり、慌たしさの中にも緊張感が出てきました。感染症予防を徹底しながらの活動にはなりますが、たくさんの思い出とともに元気に卒業式を迎えられることを願っています。

【インフルエンザが流行しています～家庭での感染症予防～】

西原小では、インフルエンザによる欠席者が増えています。また、新型コロナウイルス感染症による欠席者もゼロにはならない状況です。学校でも引き続き感染対策を徹底していきますが、御家庭でも感染が広がらないよう御協力をお願いします。

【生活習慣】

体調不良を訴えるお子さんの話を聞いていると、ゲームや携帯のやり過ぎによる睡眠不足や生活リズムの乱れが気になります。はやね、はやおき、朝ごはん、運動、睡眠などの生活リズムを整えて、感染症に負けない体をつくれるよう御協力をお願いします。



【マスク】

マスク着用については、国や県から方針が示されています。学校としては、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防のため、引き続きマスク着用について御協力をお願いしています。学校行事などで、対応が変更になる場合にはお知らせします。



のうせきずいえきげんしょうしょう

脳脊髄液減少症を知っていますか？

「脳脊髄液減少症」とは、脳脊髄液が減少することが原因で頭痛や悪心、めまい、耳鳴りなどの症状が出現する疾患です。交通事故やスポーツ中の外傷性の頭部打撲が原因になることがあります。

保健室のけがの来室理由で一番多かったのが「打撲」でした。特に首から上の怪我については、些細な事例でも御家庭に連絡させていただいています。痛みが治まってからも、頭痛などの症状が続く場合には、上記のような疾患の可能性もありますので病院受診をお勧めします。受診した際は、学校にもお知らせください。



2年生が「おへそのひみつ（学級活動）」を題材に性についての学習をしました。

「おへそ」は何の役目をしているのかな？というテーマで、赤ちゃんがおなかの中で育つ様子や、産まれてからへその緒を切って今のおへそができるまでについて学習しました。

☆動物のおへそあるなしクイズ

おへそがある動物は、たまごではなく、お母さんのおなかから、赤ちゃんで生まれてくる。

☆たいぼんの役割

赤ちゃんが育つのに必要な栄養のタンク

☆へその緒の役割

赤ちゃんに必要なもの（酸素・栄養）をあたえて赤ちゃんに必要なものをお母さんの体に運ぶ。



おへそは、おかあさんと赤ちゃんの命がつながっていた証拠です！

〈児童の感想〉

- ・たいぼんとへそのおは、すごたいせつだとおもった。
- ・赤ちゃんのおへやはいろいろかんがえられていてふしぎだなとおもった。
- ・赤ちゃんのにんぎょうをだっこしたら、おもったけどかわいかった。
- ・おかあさんにしんぱいかけないようにしたいです。
- ・自分を大切にしたいです。
- ・「ママありがとう。」とつたえたいです。

保健室の一年間



保健室には、いろいろな理由で児童が来室します。けがや病気以外にも心配なことがあったり、友達とけんかしてしまったり、不安で来室する子もいます。今年度も、感染症が流行している時期にはゆっくり話を聞くことができないこともありました。でも、保健室から教室に戻るときに少しでも笑顔がもどるようお手伝いできればと思います。

6年生とは、感染症対策をしながら一緒に宿泊学習や修学旅行に行けたことが思い出です。普段は保健室に来室しない児童と話をしたり、一緒に活動したりできて心の距離が少し近くなったように思いました。また、6年生が1年生と手をつないで登校したり、縦割り班で一緒に遊んだり、清掃の仕方を優しく下級生に教えたりする姿を見て、体だけではなく心も大きく成長していることを実感しています。

1年生から5年生もこの一年で、できるようになったことや好きになったことも増え、心も強く優しく成長していると思います。春休みは、ぜひそんなところを褒めてあげてください。そして、新年度に向けて心と体の準備のお手伝いをお願いします。

